

災害ケア論

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 小坂 未来 講師		
担当講座・学科(分野)	看護学部、共通基盤看護学講座、救急・災害・総合医学講座災害医学分野		
対象学年	1	区分・時間数	講義 12 時間
期 間	前期		
単 位 数	1 単位		

・学習方針（講義概要等）

2011年3月11日、東日本大震災は岩手県沿岸全域で津波災害をもたらし、内陸部は被災地支援を展開するなど県民全体が災害を自分のこととして意識するような出来事となった。今現在も多くの方が震災の影響で悩み苦しんでいる。これまでも大きな災害が、そしてこれからも災害が頻繁に生じるであろう状況下にあつて、被災を受けることは生活に心身にどのような影響を与えるのか、看護職者としてどのような災害支援ができるのか、その基礎を学ぶ。最後に自分たちで関心のある災害事例についてまとめ、何が明らかになったか、共有する場を持つ。

・教育成果（アウトカム）

災害の歴史、定義、種類、関連する制度、さらには、災害看護の歴史を学ぶことで、災害看護を学ぶ意味を理解するとともに、災害サイクル各期の特徴と健康問題、災害が人々の健康に及ぼす影響、災害時に看護が果たす役割について理解できるようになる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：2, 3, 6

・到達目標（SBO）

1. 災害の種類や災害サイクル、地域防災計画、支援体制について理解できる。
2. 災害サイクルとそれぞれの特徴それに関わる健康問題とはどのようなものか、それに医療・看護がどのような役割を果たせるのかを概説できる。
3. 災害時の医療救護活動の基本である CSCATTT について理解できる。
4. 要配慮者、避難行動要支援者への看護について理解できる。
5. 被災者、救護者のストレスについて理解できる。

・授業日程

(矢) 西 1-A 講義室
 (矢) 西 1-B 講義室、(矢) 大堀記念講堂

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
6/10	木	4	看護学部	三浦まゆみ非常勤講師	災害発生に備えた心構え、災害とは、災害の定義、災害看護の特徴について ・災害発生に備えた心構えをもつことができる。 ・災害の定義、地域防災及び災害看護の特徴について述べるができる。 【事前学修】教 pp.333-340 を読んでおく 【事後学修】講義資料を復習する
6/14	月	4	災害医学分野	眞瀬 智彦 教授	災害医療とは ・災害医療のポイントをあげることができる
6/15	火	2	看護学部	三浦まゆみ非常勤講師	災害看護の歴史、災害から教訓を得、次に生かす ・阪神淡路大震災、地下鉄サリン事件から災害医療看護がどのように発展していったのかを述べることができる 【事前学修】1995 年の上記災害について調べてくる 【事後学修】DVD 視聴から学んだことを整理し、講義資料を復習する

6/22	火	2	共通基盤看護学講座	小坂 未来 講師	<p>災害サイクルから見た看護-主に急性期、医療避難所における看護、災害支援ナースの活躍について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・急性期における看護のポイントについてあげることができる。 ・実際のカードで体験したスタートトリアージについてポイントを述べるができる <p>【事前学修】教 pp.340-343 を読んでおく</p> <p>【事後学修】前回の災害医療の学びと合わせて講義資料を復習する</p>
6/29	火	2	共通基盤看護学講座	小坂 未来 講師	<p>災害サイクルから見た看護-主に避難所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難時での被災者の健康問題、看護のポイントをあげることができる ・災害時要援護者への配慮について述べるができる <p>【事前学修】教 pp.343-345 を読んでおく</p> <p>【事後学修】講義資料を復習する</p>
7/6	火	2	看護学部	三浦まゆみ非常勤講師	<p>災害サイクルから見た看護-中・長期仮設住宅・地域ケア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮設住宅及び被災地域における看護のポイントをあげることができる <p>【事前学修】教 pp.346-348 を読んでおく</p> <p>【事後学修】講義資料を復習する</p>

7/13	火	2	共通基盤看護学講座	小坂 未来 講師	-グループワーク- 様々な避難者の例を基に避難所における看護支援についてグループでまとめよう。 ・小グループに分かれ学びを共有し、避難所のイメージを広げることができる
7/20	火	2	看護学部 共通基盤看護学講座	小坂 未来 講師 三浦まゆみ非常勤講師	-グループワーク- グループ発表とそれに対するまとめ ・自他のグループ発表からの学びをそのグループ発表の特徴に応じてまとめることができる

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	系統看護学講座専門分野1 看護学概論 基礎看護学1 第17版	茂野香おる他	医学書院	2020
参	災害看護学・国際看護学 第4版	浦田喜久子、小原真理子編	医学書院	2019
参	災害看護改訂第3版	酒井明子、菊池志津子編	南江堂	2018
参	ナーシング・グラフィカ 看護の 統合と実践③ 災害看護	酒井明子代表編	メデイカ出版	2017

・成績評価方法

筆記試験 80 点、グループワークのまとめ、レポート 20 点の合計 100 点とする。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

授業では前回の学びの確認を行いながらすすめていく。またグループワークを行うが、それぞれテーマにそって、事前学修をしてグループワークに臨むこと。講義においては、授業の復習と最後に提示する事前学修用予習ポイントを含めて取り組むこととし、各回最低 30 分以上を要する。グループワークを行う授業では事前学修及び事後学修の時間は最低 1 時間を要する。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

グループワークのまとめ・発表、レポートについて、事前に学生に配布する評価表に基づき評価する。授業に関する Q&A はレスポンスカードを活用し、全体に伝えるべき内容は次の授業で話題とする、または WebClass 上に掲示する。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師（別表 3）：統合分野 看護の統合と実践

【その他】

問題を学生同士で考える時間を設け、全体及び個々の理解を深める。

・ 授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影